

令和4年度英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業 福島リサーチカンファレンス／ワークショップ

開催日 令和4年11月9日(水) 13:00 ~ 17:30

会場 Web形式

主催 日本原子力研究開発機構 廃炉環境国際共同研究センター

—————プログラムのご案内—————

- 13:00 ~ 13:10 開会挨拶
【公開】 阿部 陽一
(文部科学省研究開発局原子力課 放射性廃棄物企画室長)
山名 元
(プログラムディレクター/原子力損害賠償・廃炉等支援機構 理事長)
- 13:10 ~ 13:20 英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業について
【公開】 岡本 孝司
(日本原子力研究開発機構 廃炉環境国際共同研究センター長)
- プレス退室【以降：非公開】
- 13:20 ~ 13:30 廃炉中長期実行プランについて
〔ニーズ側発表〕 吉田 貴彦 (東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー 廃炉技術開発センター 所長)
- 13:30 ~ 13:55 マイクロ・ナノテクノロジーを利用したアルファ微粒子の溶解・凝集分散に
〔シーズ側発表〕 及ぼすナノ界面現象の探求
塚原 剛彦 (東京工業大学)
- 13:55 ~ 14:20 耐放射線プロセッサを用いた組み込みシステムの開発
〔シーズ側発表〕 渡邊 実 (岡山大学)
- 14:20 ~ 14:30 休憩
- 14:30 ~ 14:55 3次元線量拡散予測法の確立と γ 線透過率差を利用した構造体内調査法の開発
〔シーズ側発表〕 谷森 達 (京都大学)
- 14:55 ~ 15:20 革新的アルファダスト撮像装置と高線量率場モニタの実用化とその応用
〔シーズ側発表〕 黒澤 俊介 (東北大学)
- 15:20 ~ 15:45 無線UWBとカメラ画像分析を組合せたリアルタイム3D位置測位・組込システムの開発・評価
〔シーズ側発表〕 松下光次郎 (岐阜大学)
- 15:45 ~ 15:55 休憩

- 15:55 ~ 16:20 障害物等による劣悪環境下でも通信可能なパッシブ無線通信方式の開発
〔シーズ側発表〕 新井 宏之（横浜国立大学）
- 16:20 ~ 16:45 α 汚染可視化ハンドフットクロスモニタの要素技術開発
〔シーズ側発表〕 樋口 幹雄（北海道大学）
- 16:45 ~ 17:10 高放射線耐性の低照度用太陽電池を利用した放射線場マッピング観測システム開発
〔シーズ側発表〕 奥野 泰希（京都大学）
- 17:10 ~ 17:25 総合討論・まとめ
座長 岡本 孝司
（日本原子力研究開発機構 廃炉環境国際共同研究センター長）
- 17:25 ~ 閉会挨拶
岡本 孝司
（日本原子力研究開発機構 廃炉環境国際共同研究センター長）

※シーズ側の発表は1 課題あたり
発表 10 分、議論 15 分の計 25 分